

児童朝会 講話 ■令和5年3月20日

No.35 「ことば 4」

おはようございます。校長先生の声、みなさんの心に届いていますか？

6年生が卒業して少し寂しくなりましたが、もう少ししましたら、新1年生も入ってきます。あとわずかな今年度、最後までしっかりがんばっていきましょう。

先週のお題「どうして北京原人が言葉をしゃべっていたとわかるのでしょうか。カセットテープやCD、スマホなど録音するものもないのに、どうして北京原人がしゃべっていたとわかるのでしょうか？北京原人がしゃべっていた証拠はなんなのでしょうか？」でした。

さすがに難しかったみたいですね。文字が残っているからという答えが多かったようですが、文字は、もっとあと、だいたい6000年ぐらい前にできてきました。言葉は70万年前と言われていいますので、もっと昔からあるのですよ。

では、あらためて、言葉の証拠を皆さんと考えていきましょう。まずは、このヒントの絵をみてください。言葉を使っていたという証拠がここにはありますよ。まわりの人と聞き合ってみてください。

この画像にはマンモスが写っています。そう、北京原人の骨の周りには、今までにはない、マンモスのような大型動物の骨が残っています。

大型動物を倒すのは、当然一人では倒せません。集団で、チームプレーで倒していきます。すると、そこには当然「言葉」があったと考えられます。

「そっちにマンモスいったぞ！」

「後ろから蛇がねらっている！」などお互いに声を掛け合わさなければ、このような大型動物を安全に倒すことはできないはずですよ。

ですので、しゃべっていた証拠は、大型動物の骨が北京原人の周りでみつかったということになります。

さて、言葉のはじまりのなぞはとけてきました。

こんどは、ことばの広がりを見ていこうと思います。世界には、日本語、英語などたくさん言葉があります。いったいどれぐらいの言葉があると思いますか？だいたい5000～7000とされています。

日本語はあ～んの51文字で51音+キャやガ行など入れて、だいたい100音ぐらいできています。皆さんが勉強しているもう一つの言葉英語はだいたい全部でいくつぐらいの音があるか知っていますか？なんと1800ぐらいあるのです。たとえば、日本語では「ア」に聞こえる音が、英語では、3つもあります。

たとえば「ハット」という発音でも

[æ] 『え』の口の形で『あ』 hat: 帽子

[ʌ] 『う』の口の形で『あ』 hut: 小屋

[ɑ] 『お』の口の形で『あ』 hot: 暑い、熱い

難しいですね。ですので、英語は組み立てや文字数は極めて少ない言葉だと言われていいますが、発音は私たち日本語をメインで使っている人間から見ると、かなり難しい言葉だといえます。

しかし、世界を見てみますと、もっと難しい音を出さないといけない言葉はたくさんあります。口で出せるあらゆる音が、言葉になっています。口で出せる音ってどんな音があるかな？少し周りの人と聞き合ってみましょう。

それでは、これを今週のお題にします。こんな音も出せるよというのがわかりましたら、校長室前のボードに書きにきてください。今日も最後まで聞いていただきありがとうございました。